

令和6年度6月補正予算編成方針

安全・安心、共創のまちづくりをさらに形にする予算へ

本市は、大阪北部地震や新型コロナウイルスなど、未曾有の事態に対応する中でも、市民の皆さまに寄り添いながら、さらなる市民サービスの充実に向けて取り組んできたことにより、豊かさ・幸せが実感できる“次なる茨木”への歩みが着実に進んでいます。

3期目の最初の予算となる令和6年度6月補正予算は、「おにクル」や「ダムパーク いばきた」のオープンを契機として、学生や企業など多種多彩な方々を巻き込みながら、共創のまちづくりを進めるとともに、変化する社会環境の中、福祉や子育て、教育、防災施策の推進など、様々な市民ニーズへの対応を継続する「住みやすいまち」「選ばれるまち」として、安全・安心のまちづくりをさらに進める第一歩となります。

以上を踏まえ、令和6年度6月補正予算は、

“次なる茨木”をさらに進めるための取組として

- ▶誰もが安全・安心を実感できるまちづくり
- ▶共創による、豊かさ・幸せが実感できるまちづくり
- ▶まちづくりを支える財政の健全性の確保

に、努めることとします。

なお、社会福祉経費の増大や物価高騰の長期化等の影響で厳しい財政環境の中での予算編成となるため、予算要求にあたっては、国府補助金等の財源の確保に最大限努めるとともに、事業内容については、必要性・緊急性・効果等を踏まえ、十分精査してください。

誰もが安全・安心を実感できるまち、そして市内外の皆さまとともに表現・実現していける共創のまちへと歩みを進めるため、職員の皆さんは、総合計画の方向性と重点事項を踏まえ、庁内外の連携により英知を結集し、予算編成に取り組んでください。

令和6年4月19日

茨木市長 福岡 洋一